

※保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。集団での感染症の流行を、できるだけ防ぐことはもちろん、子ども達が一日快適に生活できることが大切です。

※下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、登園届の提出をお願いいたします。なお、保育園での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するようにご配慮ください。

※登園のめやすは、下記の子どもの全身状態が良好であることが基準となります。

登 園 届 （保護者記入）	
ひまわり保育園園長様	
	園 児 名 ナ
	生年月日 マ
病 名	
医療機関名	において診断され、
登園のめやすを参考に、症状が回復すれば、登園可能と診断されています。	
年 月 日	に症状が回復し、集団生活に支障がない状態と
診断されましたので登園いたします。	
保護者名 _____	

※ ◆ のマークは完治証明書が必要な感染症です。

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の一週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 ・ノロ ・ロタ ・アデノウイルス 等	症状がある間と、症状消失後 1 週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数週間(便の中に 1 カ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
R S ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水泡を形成のある間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん		解熱して機嫌がよく全身状態が良いこと
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いので、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は、5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
◆ 麻しん (はしか)	発症 1 日前から発しん出現後 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから(※完治証明書の提出)
◆ 風しん (三日はしか)	発しん出現後 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから(※完治証明書の提出)
◆ 水痘 (水ぼうそう)	発しん出現 1～2 日間から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから(※完治証明書の提出)
◆ 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺、膨脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで(※完治証明書の提出)
◆ 急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間便から数週間～数カ月排出される。	医師により感染の恐れがないと認めるまで (※完治証明書の提出)
◆ 結核		
◆ 腸管出血性大腸菌感染症 (0157・026・0111 等)		
◆ 髄膜炎菌性髄膜炎		

※重度な感染症や、登園して子ども症状が良好ではない時、登園めやすより期間が早く登園する場合は、受診依頼や完治証明書の提出をお願いする事がありますので、ご理解ください。